

2018年度 デイサービスいずみ 事業報告

デイサービスいずみ
センター長 小畑理恵子

【事業目的】

1. ご利用者の意思及び人格を尊重し、高齢者が在宅で自分らしく生き生きとした生活を送ることができるよう、サービスの提供を行います。
2. 通所介護計画に基づき、利用者の自立を促すことができるサービスの提供を行います。
3. 在宅介護を継続することができるよう、介護者を支えるための援助を行います。
4. ご利用者の生活の幅が広がるように、地域と連携して支援していきます。
5. 人に優しい物品を使用し、環境に配慮した活動を取り組みます。

【事業報告】

- ① 障害者や認知症の重度・軽度に関わらず、利用希望される方。介護予防・総合事業対象の方もすべての方を対象にサービスの提供を行いません。「10の基本ケア」の視点を持って自立心・意欲の回復ができるご利用者主体のサービス作りをしていきます。
→10の基本ケア推進会議で必要なケアの検討を行い、立ち上がり研修・吐しゃ物処理方法の試験を行いました。常勤・非常勤、すべての職員がスキルに合わせて学ぶことができました。
推進メンバーは3社福合同の技術習得研修会に参加し、学びの機会を得ています。
今後も項目ごとに全職員が学びを深め、ご利用者の意欲回復が出来るサービスの提供を行っていきます。
- ② 午前・午後の活動の充実と入浴稼働率の向上・“食”について着目しご家族のニーズに合わせたお弁当の持ち帰り・夕食の提供等を目的としデイサービスの一日の流れの見直しを行いません。
→2017年9月より開始した夕食サービスは、栄養バランスの良い食事を摂り、口腔ケア、服薬を済ませて帰宅する、会話を楽しみながらのお食事、家族の介護負担の軽減など、成果が見られました。
しかしながら、新規ご利用者を増やすことはできませんでした。利用時間が長くなること、職員体制が整わないことなどもあり、今年度をもって終了といたします。
今後は入浴サービスの充実を検討していきます。
- ③ より質の高いサービスの提供の為、職員研修の充実と積極的に知識・技術の向上に取り組み、口腔ケアの実施・評価できる専門職としての意識を高めます。
→10の基本ケアの考え方を中心に、研修に取り組みました。技術の実践だけでなく、座学も行いながら理論を学ぶことができました。
職員会議でのミニ講座・グループディスカッションを取り入れ、必要な研修を行いました。
口腔ケアの評価については行えませんでした、今後も必要な課題と思われまます。
- ④ 住み慣れた地域に安心して暮らせるよう、認知症ケアの向上を目指します。地域のボランティアや保育園・小中学校の受け入れや実習生を受け入れ多世代交流を積極的に行いません。その他、地域の活動・行事に積極的に参加しご利用者の活性化をはかります。

→和泉保育園交流・中学生の職場体験・ひばり中交流会を行ないました。

大勢のボランティアの方々に参加いただき、プログラムの充実を図ることができました。

認知症ケアについては、根拠を持ってケアにあたるよう、研修の機会が必要と思われます。

⑤ 安定した稼働率を確保できる体制の見直しをしていきます。

→年度途中より厳しい状況は続いています。職員の配置が安定せず、事故報告も多かったと思います。今のご利用者、ご家族、ケアマネジャーの求めるサービスとは何かを、職員全体が認識し、共通目的としていく必要があります。

育児による時短勤務職員が、やりがいを持って仕事ができるよう、1日の流れの検討を行っていきます。

入浴の稼働率を確保することも厳しい状況でした。安定して午後入浴が行えるよう、体制の見直しが必要です。

【事業実績】

① 利用実績

- ・ 新規：31名 終了：30名

<年間ボランティア参加者数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
140	136	132	118	99	153	145	141	149	102	147	

<ボランティア交流会> ボランティア交流会⇒5月・1月 2回開催

<実習生受け入れ>

- ・ 教員免許取得者社会福祉施設介護体験 今年度は受け入れなし
- ・ 中学校職場体験 3校 9月 青嵐中学校・田無第一中学校 11月 田無第二中学校
- ・ 生活クラブインターンシップ受け入れ 家政大 7名・和光大学 1名・立教大学 1名・**法政大学 2名**
- ・ 職場体験事業

<地域交流>

- ・ 保育園交流：和泉保育園
- ・ ひばりが丘中学校交流会：ひばりが丘中学校⇒3月14日

<家族交流会>

- 第1回 講習会・茶話会⇒7/5・6・7 15名参加 茶話会 120分 デイ会議室
- 第2回 茶話会⇒3/9・14 10名参加 茶話会 120分 デイ会議室

*毎月1日に避難訓練（火災・地震）を実施

*毎月、誕生会を実施

*年間を通してご利用者の意見を取り入れ外食・外出・買い物・喫茶外出・図書館外出の企画実施。

【会議】

会議 委員会名	開催日	目的・役割	メンバー
職員会議	・ 月 1 回 土曜日	・ 事業所全体の事業運営のための必要事項の確認。各委員会・役割分担等の報告。サービス等についての検討、各研修の実施を行い、サービスの質の向上を図る。	全職員（運転手・ 外介職員を除く）
防災対策委員会	・ 年 4 回（6・ 9・12・3 月） ・ その他、随 時	・ 毎月 1 日に避難訓練を行い実施状況の確認・点検を行う。センター内の火災予防上の点検・検査実施状況の確認・検討を行う。	センター長・主 任・担当職員
危機管理委員会	・ 毎月 1 回 ・ その他、随 時	・ 事故報告書・ヒヤリハットをもとに事故発生の対策と防止案を検討・提案を行う。 ・ ご利用者の安全対策・人権に関わることについて確認・検討を行う。 ・ ご利用者・ご家族・地域等からの苦情・意見に対する対応と進捗状況の確認をし、防止策の検討を行う。	センター長・主 任・看護師・介 護職員
教育研修・ケア 向上委員会（マ ニュアル会議）	・ 年 4 回（4・ 7・10・1 月） ・ その他、随 時	・ 新規採用職員の研修を行う。 ・ 集団研修の計画を立て実施する。 ・ ご利用者のニーズを把握し、必要なケア・サービスを提案する。 ・ 職員会議でのグループディスカッションを計画・実施する。 ・ マニュアルの点検・修正を行う。	センター長・担 当職員
環境整備委員会	・ 年 4 回（5・ 8・11・2 月）	・ デイ内外の環境整備・点検を行う。 ・ 環境美化についての啓蒙活動を行う。 ・ 季節感のある環境づくりを行う。	主任・担当職員
常勤会議	・ 毎月 1 回 （危機管理委 員会と同時開 催）	・ 次月の受入れ調整・利用者情報の確認。安定した利用人数の確保が出来るようにする。 ・ 各委員会・役割分担等の進捗状況の確認。	常勤職員
Ns 会議	・ 年 3 回	・ Ns 業務の確認。ご利用者の健康管理に関する情報の確認をおこなう。 ・ 医療知識についてのミニ研修を職員会議で実施する。	センター長・看 護師
食事会議	奇数月の 第 1 火曜日	・ 昼食・おやつに関して結女と調整を行う。	センター長・看 護師・
送迎運行者会議	年 2 回	・ 運行業務についての確認を行う。 ・ 情報交換を行い、各コースの点検を行う。	センター長・送 迎担当・運転手

各行事担当者会議	必要時	・ 各行事についての調整。職員会議への提案事項を検討。	各行事担当者
各役割分担会議	必要時	・ 各役割についての調整。職員会議への提案事項を検討。	各役割担当者
各クラブ分担会議	必要時	・ 各クラブについての調整。職員会議への提案事項を検討。	各クラブ担当者

・ ナース会議、食事会議については、今年度は管理者交代、ナースの退職等により実績なし。

【研修】

下記の研修を職員会議で実施していきます。研修によっては法人での合同研修を企画していきます。下記の研修以外に各職員に応じた外部研修を計画していきます。

- * 認知症に関する研修（12月職員会議にて 認知症ケア・対応）
（3月職員会議にて パターン化しない認知症ケアのヒント）
- * 接遇・マナー研修（なし）
- * プライバシー保護に関する研修（なし）
- * 虐待防止・身体拘束排除に関する研修（11月職員会議にて 高齢者虐待防止・記録の意味と記入方法）
- * 倫理及び法令順守に関する研修（なし）
- * 事故発生予防・再発防止等、安全対策に関する研修（なし）
- * 緊急時対応に関する研修（1月職員会議にて 送迎時の緊急対応）
- * 非常災害時の対応に関する研修（3月職員会議にて 防災）
- * 感染症及び食中毒の発生予防および蔓延の防止に関する研修（5月職員会議にて 食中毒）
- * 介護予防に関する研修（なし）
- * 疾病等に関する研修（5月職員会議にて 皮膚の病気と症状について）
（6月職員会議にて 排便コントロール・薬・痔）
（9月職員会議にて 高齢者のスキンケアと皮下出血）

【年間行事】

月	内容	月	内容
4月	お花見ドライブ	10月	外食・喫茶外出
5月	端午の節句	11月	菊花展（如意輪寺）
6月	北山公園	12月	クリスマスコンサート
7月	七夕	1月	初詣（尉殿神社）
8月	夏祭り週間	2月	節分・豆まき
9月	敬老週間 お月見	3月	ひな祭り

以上